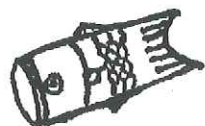


おもちゃの図書館 全国情報

トイ・ポスト



No. 98

平成22年10月1日発行/おもちゃの図書館全国連絡会 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-6-2 八重洲一丁目ビル8階
電話 03-3272-0072 FAX 03-5299-9011 E-mail:renrakukai@toylib.or.jp HP:http://www.toylib.or.jp

「第19回 全国ボランティアフェスティバルひろしま」を終えて

9月25～26日に広島国際会議場をメイン会場にして第19回全国ボランティアフェスティバルひろしまが行われました。分科会は26日(日)9時30分から中区地域福祉センターの5F大会議室において開催され、テーマは「おもちゃがつなぐ人と人」参加者は80名でした。



コーディネーターの米川さん

第1部は「広島県おもちゃの図書館からの発信」と題して、3名のパネラーから事例発表がありました。はじめに、呉市本庄つくし園トイライブラリーから堰水尾陽子さん。園児たちにおもちゃを介して楽しく遊べる時を、外部からは遠足の時などに場所を提供しています。通園施設なので敷居が高いのか地域の中にはなかなか開かれないのが課題のひとつですとのこと。次に、ボランティアで運営する庄原市のおもちゃの図書館たんぼぼから田辺

明美さん。市町村合併にあたり開館場所の確保に苦労されたこと、役所と連携をとる中で子育て支援の一角におもちゃの図書館を位置づけることができ、より地域に根付いていきたい、それと大きくなった開館当初の子どもたちにどうしていくことがいいのか模索中ですとのことでした。最後に、福山おもちゃ図書館から、初めておもちゃの図書館と出会った時の感動や障害をもつ子どもにとって遊び場所の提供が大切だと思ったことなどを話し、おもちゃの図書館が社協によって、サマースクール、おもちゃサロン、てらこや、などに進化している様子などを発表させていただきました。コーディネーターの柏の芽学園おもちゃの図書館米川晃さんから、より詳細な問いかけや参加者からの質問などをいただき、1部は終わりました。

第2部は日本折紙ヒコーキ協会の宇野文泰さんが講師のワークショップです。よく飛ぶ折紙ヒコーキで距離をのばす、滞空時間の長い、カーブ(鯉)の形の3種類を実際に折りながら丁寧に教えて頂き、みんなで飛ばしてみました。

地区アドバイザー 福山おもちゃ図書館 朝川 修子

日本折紙ヒコーキ協会の宇野さん



<全国の皆さま 折り鶴をありがとうございました>

「広島は、やっぱり遠いよね。」と思ったのが、「折り鶴を原爆の子の像へ捧げよう!」と思ったきっかけでした。・・・広島に行くことができないのなら、折り鶴を代わりに届けられたらいいのでは。そうすれば、全国のみなさんが「参加」できる。という、私の思い付きを1つの企画としていただくことができ、全国から折り鶴を集めることになりました。

夏が来て、全国から集まった鶴は、約5万羽。1か月かけて1羽ずつ糸につなぐ作業をし、全ての鶴が「つながり」、おもちゃ図書館を通じて、鶴を介して人と人が「つながり」ました。その「5万羽の折り鶴」は、9月26日夕刻に、無事に原爆の子の像に届けることができました。

広島平和祈念公園内の原爆の子の像の前で鶴を束ねていると、外国からの観光客の方々に、折り鶴を託されました。その場で折られたようです。その鶴も一緒にして、原爆の子の像に捧げさせていただきました。



全国各地から集まった折り鶴が、いつの間にか「世界から集まった折り鶴」になりました。

(東広島おもちゃ図書館ピノキオ 増井 里恵)

～おもちゃ図書館あれこれ～ 地域のイベントに参加

【逗子おもちゃ図書館 子どもフェスティバルへ!】

猛暑の中、8月7日から10日まで「子どもフェスティバル」が開催されました。今年で5回目、行政・市民団体・学校関係が一体となり、4日間で来場者は9000人を越えたそうです。

私たちは「おもちゃ図書館」を多くの方に知ってもらおう・・・という目的で参加(9日のみ)しましたが、それ以上の成果があがりました。定例の活動では目にすることのない、小学生と赤ちゃんの交流や、おもちゃの取り合い、年齢差のある集団の中で自然にしきり役のお嬢さんが現れたり、ボランティアの私たちにも新しい発見がありました。また、発達に遅れの見られる幼児の親子さんが来場し、わが子が楽しそうにおもちゃで遊ぶ様子を目にしたお母さんは、これを機会に定例の活動に参加したいとのことでした。今年は準備不足の見切り発車でしたが、来年は企画の段階から参加し、大人も子ども達も楽しめる場を設けたいと思っています。

(逗子おもちゃの図書館 秋山 寿子)

おもちゃ図書館ボランティア関東地区研修会

日時：平成22年9月19日（日）10時～15時 会場 上田市ふれあい福祉センター
 講演：「家族支援とおもちゃ図書館」 繁成剛 氏（東洋大学ライフデザイン学部教授）

分科会①おもちゃ図書館の見学とグループワーク（おもちゃ図書館うえだメリーゴーランドにて）
 分科会②ワークショップ 腹話術によるパペットセラピーと靴下人形で実演してみよう
 分科会③ワークショップ おもちゃで遊ぼう！～楽しく遊ぶ工夫～ 《参加者約50名》

秋晴れの研修会

関東地区研修会が戦国武将真田幸村ゆかりの城下町、長野県上田市で開催されました。

まず、小泉代表より基調報告があり、おもちゃ図書館の現状と課題、そして今後の活動への発信がなされました。

次に、ユニバーサル遊具の研究開発を手掛けておられる東洋大学教授・繁成剛先生をお迎えし、「家族支援とおもちゃ図書館」と題して講演会が行われました。子どもにとっての遊びやおもちゃの役割等について原点に立ち返りお話いただき、沢山の「ユニバーサルおもちゃ」も映像で見せて頂きました。特に三層強化ダンボールを使った、軽くて大きな手づくりおもちゃは興味深いものでした。

午後は、3分科会に分かれて研修しました。それぞれが楽しく得る所の多い研修会となりました。また、全体会の最後に腹話術師ヒロ・タッキーさんの見事な腹話術をご披露いただき全員が笑いのうちに閉会となりました。

「信州の鎌倉」上田市での研修会は私達の心に残るすばらしい一日となりました。（塩尻おもちゃ図書館 今井昌子）

【アンケートより】

☆おもちゃ図書館の原点と時代に沿った 活動の方向が理解できた。

☆具体的なおもちゃのスライドを沢山見せて頂いて参考になった。

☆個人的に知りたいことなどを詳しく聞けたし、実際のおもちゃ図書館を見学できたことによって、実感があったのでよかった。

☆ちょっとしたアイデア、工夫でお金をかけず、何通りも楽しめることがわかった。



平成22年度 おもちゃの図書館ボランティア 関東地区研



講演：繁成剛 先生



第1分科会：
 神原園長先生と菊地さん
 事例発表の後、グループ毎に様々な話題で盛り上がりました。



第2分科会：
 滝沢博文さんの腹話術



第3分科会：
 遊び方はいろいろ！

☆山科直治記念レジャー活動支援金・活動報告☆

鳥羽と東成区、二つの『どんぐり』さんからレジャー活動の報告です！

◇開館10周年記念大阪一泊バス旅行！

鳥羽おもちゃ図書館どんぐり 代表 金子直由

鳥羽おもちゃ図書館どんぐりは、2001年4月に開館して今年で10年目になります。その記念として、レジャー活動支援金を活用して、例年行っているサマーキャンプの代わりに、1泊2日大阪バス旅行（USJ、海遊館、8/7,8）に出かけました。参加は9家族、16名のボランティアさんを含めて総勢44名。貸切バスの中では、学生ボランティアさんの車内ゲームで、みんなでワイワイと盛り上がりました。

USJ の中では、家族ごとにボランティアさんが1～2名ついて一緒に廻り、屋外でのショーやライドアトラクションを楽しんだり夜のきれいなパレードを見たりして、夏の半日、十分にUSJを楽しみました。二日目は、海遊館の見学でした。全員で記念写真を撮った後、巨大なジンベイザメの泳ぐ大きな水槽やかわいいペンギンの水槽など、それぞれに楽しく見る事ができました。とても楽しい二日間となり、いい思い出ができました。

海遊館にて記念撮影



◇遊びながらスポーツを楽しもう！

東成区おもちゃ図書館どんぐり 代表 黒岡恵子

山科直治記念レジャー活動支援金の助成を受け、スポーツをテーマに「遊んでたら・・・いつの間にか運動しちゃってる♪」を目指して」をサブタイトルに開催しました。

対象は、障がいのある未就学児と小学生、そしてそのきょうだい児で、場所は、地域の小学校の講堂を借り講堂いっぱい運動用具を設置し、ひと目見たら、何をやるのか解るように足型や矢印等の視覚支援を床に貼り、始まりの挨拶のあと一斉に好きな所に各々が行き楽しみました。親子参加+NPO 法人のスポーツ専門の先生と育成園の先生、社会福祉協議会の方、ヘルパーさん等、たくさんの方の関わりの中、上手く子どものペースやレベルに合わせて遊んでもらい、大盛況に終える事が出来ました。

今回は、初回と言う事で決まり事や指導などは無く自由に楽しむ事を大事にしたのが、良かった様です。助成して頂き、今後に繋がる活動が出来た事を感謝しています。本当にありがとうございました。



運動しちゃってる♪

☆どうぞよろしく！新入会員の紹介☆

NO.687 都島区おもちゃの図書館「マナパーク」(大阪)



はじめまして、大阪市都島区でおもちゃ図書館をオープンしたNPO法人mama コムです。

マナパークは地下鉄都島駅下車、徒歩1分ととても便利な場所にあり、大阪市外から遊びに来てくれるお友だちもいます。スペースがあまり広くないので、大型遊具はありませんが、知育玩具やおままごと、プラレールなど、こどもたちが大好きなおもちゃを色々揃えています。人気があるのは、

木のおままごとで、色々な食材をならべてみんなで楽しく遊んでいます。

マナパークでは、おもちゃ図書館以外に親子で遊べる色々なイベントや教室を開催しており、おもちゃ図書館の開館時に、各教室の先生が手遊びをしに来てくれたり、ベビーサインを教えてください、絵本の読み聞かせに来てくれることもあります。最近ではベビーリトミックの先生がオルガンを持って遊びに来てくれてみんな大喜びで、ママと一緒にダンスをしました。

現在は健常者のおもちゃばかりですが、今後は障害をもったおもちゃも遊びに来てもらえるよう、告知など工夫していきたいと思っております。

(都島区おもちゃの図書館「マナパーク」代表 柳生久理子)

NO.688 さわやかおもちゃ図書館(千葉)

『さわやかおもちゃ図書館』は、平成15年に開館して以来、数多くの方に利用されてきました。月に一度(第2日曜日)の開催ですが、約160点に及ぶ色々なおもちゃで自由に遊ぶことができ、親御さん方も一緒に楽しめる居場所作りを目指しています。

参加されているのは、自閉症などの発達障害や重複障害のお子様と親御さん達を中心ですが、お子様同士がコミュニケーションを取りながらできる遊び(例・面子)や自分の能力や世界を広げられる遊び(例・塗り絵や粘土遊び)、感性を育てる遊び(例・手遊び歌)の三点を軸として、お子様の成長のお手伝いをしています。また、ご近所のボランティアさんがお手伝いにいらっしゃることもあります。

地域の方々の深い理解と協力を頂きながら、広く多くの方々に『おもちゃ図書館』を通して障害の理解とありのままの姿で触れ合う大切さを知っていただきたいと願っています。



(さわやかおもちゃ図書館 担当 石川和彦)

おもちゃ図書館の幟(のぼり)が できました♪



この度、(財)日本おもちゃ図書館財団様に「おもちゃ図書館」と書かれた『のぼり旗』を作っていただきましたので、全国のおもちゃ図書館に1枚ずつお届け致します。開館の日印やイベントに参加する時など・・・工夫してご活用ください。

あらためまして、(財)日本おもちゃ図書館財団様に感謝申し上げます。(追加でご希望の場合は有償です)

.....
事の発端は、千葉のおもちゃ図書館からの問い合わせでした。調べてみると、以前千葉県連絡会で旗を作り、千葉県内のおもちゃ図書館に配ったとのこと。佐倉おもちゃ図書館の物を見せていただくと、ピンク色の大きな旗で、これは目立つ!となり作製に至りました。



楽しかった【東京連絡会】

「おもちゃ図書館が33館もある東京に連絡会がない!」と、急遽役をふられ考えもせず受けてしまったのが事の始まりです。受けてしまったが、無力の私です。「わからない、どうしよう?」とっている間に事が運ばれ、楽しく学ぼうということから、9月4日、月島社会教育会館にて【交流学习会】を開催しました。

当日は都内11館はじめ、全国連絡会や日本おもちゃ図書館財団からもご参加頂き、19名でにぎやかに活動紹介や手遊び・手話音楽、活動に必要な情報提供というプログラムで、中身を欲張りすぎたのか、あっという間の会でした。

東京では来年、全国ボランティアフェスティバルが、3年後にはアジア会議が開かれます。大勢で楽しみましょう!文末ですが準備から当日までお手伝い頂いた皆様、ご参加頂いた方々に深謝いたします。 ☆当事業にはミニ学習会の助成金を頂きました!

おもちゃの図書館東京連絡会 代表 澤佐 景子(こばとおもちゃの図書館)



【各地の連絡会の皆様へ】

☆各地の都道府県・市単位で活動している連絡会の情報を募集します! イベントや交流会の報告などお待ちしております!

地区アドバイザーピックアップ



オランウータンの赤ちゃんを見に行きました！

札幌市内7つのおもちゃ図書館で「さっぽろおもちゃ図書館連絡協議会」を組織し、年6回例会を開催、情報交換やふれあい事業の計画・研修会の進め方などを相談しております。

今年のふれあい事業は、いつも遊びに来てくれている親子の皆さんと一緒に札幌円山動物園にでかけることにしました。

8月28日(土)参加者総数334名。入園後はお友達・家族それぞれくごわごわしたヤギに触れたり、くごどもの国遊園地で観覧車に乗ったり一日を楽しんでもらいました。

地区アドバイザー(北海道) 嶋田 修



オランウータンのレンボーとハヤト

(写真は円山動物園 HP より)

聴いて 聞いて！ 相談員コーナー

相談日：毎週木曜日
時間：午後1時～5時
相談員：齋藤勝子
TEL:03-3272-0072

木のおもちゃ イスの積み木のご紹介

8月の猛暑続きの中を、相談役の木谷宜弘先生が徳島県より「山の楽校」代表田上幸輝氏を伴って来所されました。手には可愛らしいイスの積み木がいっぱい詰まった大きな荷物を持って。



いすの高さ約10cm

地元上勝町産の杉材を使った《イスの積み木》等は、四国大学人間生活科学研究所の井村雄三先生が長い年月をかけて研究し「てるぺん」というブランド名で商品化されました。井村先生は障害児が安心して遊べる場所を作ることを目的に平成7年に阿波市市場町に「おもちゃ館」を開館されました。現在は市場町「木の手づくりおもちゃ館」と上勝町「山の楽校」で、障害のある子もいない子も大人も楽しく遊べる場所として、また遊具作りの楽しさを子ども達や学生さんに伝える場所として活動されています。全国連絡会のお仲間のおもちゃ図書館から生まれた《木のおもちゃ イスの積み木》をご紹介します。 ※詳細は別添ちらしをご参照ください。

インフォメーション

平成22年度 おもちゃ図書館ボランティア地区研修会 開催予定

開催地区	開催場所・会場	開催日
北海道	北海道・札幌市 札幌市社会福祉総合センター	10月24日(日)
東北	宮城県・仙台市 泉社会福祉センター (※1)	11月6日(土)
東海・北陸	愛知県・名古屋市 愛知県社会福祉会館	23年2月6日(日)
中国・四国	島根県・安来市 安来中央公民館 (※2)	11月14日(日)
九州・沖縄	福岡県・小郡市 あすてらす総合福祉センター	12月5日(日)

おもちゃ図書館ボランティア東北地区研修会 (※1)

【日時】平成22年11月6日(土) 9時50分～15時

【会場】宮城県仙台市 泉社会福祉センター 【参加費】無料

【講演】「家族支援とおもちゃ図書館」講師/佐藤秀明氏(ここねっと発達支援センター理事長)

おもちゃ図書館ボランティア中国・四国地区研修会 (※2)

【日時】平成22年11月14日(日) 10時～15時

【会場】島根県安来市 安来中央公民館 【参加費】無料

【講演】「家族支援とおもちゃ図書館」講師/砂原久枝氏(米子おもちゃ図書館 初代代表)

新入会員のご紹介

<NO. 691> 埼玉県 おもちゃ図書館なかよしばあく

<NO. 692> 北海道 おもちゃ図書館ポトフ

☆賛助会費ありがとうございました(敬称略・順不同)

代田おもちゃライブラリー 清水治子

☆ご寄附ありがとうございました(敬称略・順不同)

榎原かず子 小泉康代 齋藤勝子



<編集後記>

あれほど暑かった夏もようやく終わり、晴れた日には空気の冷たさも気持ちよい季節となりました。紅葉の便りもそろそろでしょうか。

今回のトイポストは、研修会の報告をはじめ、各地から活動の様子をあれこれお寄せいただいて掲載させていただきました。9月19日に関東地区研修会、10月2日に近畿地区研修会が無事終了し、参加された皆さんには、何かひとつでも新しい知識や希望をお持ち帰りいただけたことと思います。各地でご協力下さった皆さん、ありがとうございました。また来年、近くの仲間と会える日を楽しみに……。そしてこれから開かれる地区の皆さん、お待ちしております。ぜひ参加して、いい研修会を一緒に作りましょう。また、9月25日～26日には広島で全国ボランティアフェスティバルも開かれました。新しい出会いが新しい活動につながることを祈っています。

全国連絡会は、会員の皆さんが活動の中で困ったことがあった時には、力になれることを探します。また嬉しいことがあった時や全国の皆に聞いてみたい事がある時など、トイポストに掲載しますので、どうぞお知らせください。

(隅田・岸)